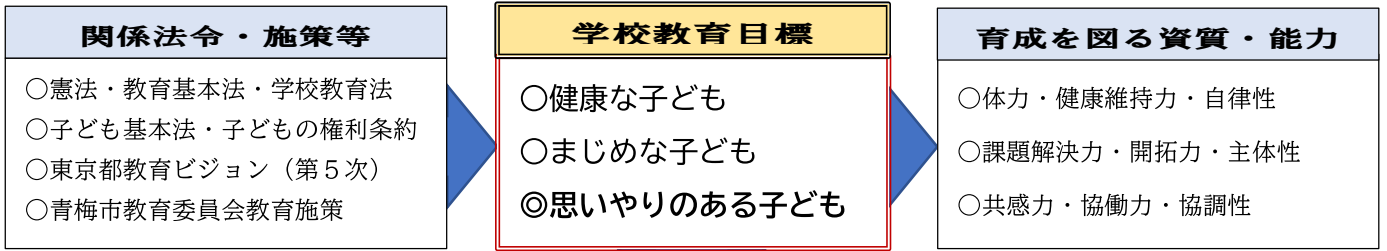




令和8年度 青梅市立第五小学校経営方針

校長 大西 浩之



一人一人が強みを発揮し、協働的に学ぶ学校
 ～みんなのウェルビーイング～

みんな（子どもたち・教職員・保護者・地域）のウェルビーイングな学校

- 子どもたち**が毎日笑顔で過ごせる学校
- 保護者**が安心して子どもを通わせられる学校
- 教職員**がやりがいを持ち自己実現できる学校
- 地域**が協働的につながる学校

健康な子ども	まじめな子ども	思いやりのある子ども
<ul style="list-style-type: none"> ●縦割り班活動やペア学年の異学年交流を通して外遊びを推奨し、日常的に体を動かす習慣づくりに取り組ませながら、体力テストの結果等を反映させた体育科授業の充実を通して、体力の向上を図る。 ●健康観察、感染症対策、状況に適應した学習活動の工夫とともに、保健指導を充実させ、生活習慣づくりの啓発を進めることで、健康維持力の向上を図る。 ●日常の安全指導を徹底し、命の大切さを考えさせながら、心身共に健康な生活を送るための自律性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に校内研究やOJTを活用しながら取り組み、課題を自分事として捉え、児童同士の協働によって解を導く、課題解決力の向上を図る。 ●校内研究を中心に、自らの成長を相対的な捉えではなく、過去の自分との比較で自覚させ、自らの人生の舵を取り、前向きに開拓していく力の向上を図る。 ●個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指し、校内研究やOJTを効果的に活用しながら、教職員の指導力を高め、児童が自立した学習者となるための主体性を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●特別の教科道德の指導や全教育活動における道德教育を充実させ、相手の立場で物事を考えたり、相手の気持ちに共感したりする力の向上を図る。 ●自分の特徴を知り、自分のよさや友達のよさを認める活動を意図的・計画的に設け、各々が活躍できる具体的場面で互いに補完し合い、協働的に課題解決を図る力の育成を図る。 ●人権教育を充実させることで偏見や差別をなくし、多様性を認め受け入れる風土を醸成し、立場や考えの違う人と協調しながら生きていく力を育む。
多様な他者との 関わり・対話	<h2 style="color: blue;">自己有用感の醸成</h2>	本物との出会い 本物の体験

コミュニティ・スクール

保護者・PTA
 青少年対策委員会
 民生児童委員・保護司
 自治会・各種団体等

青梅市立第五小学校組織

【A部会】教務部・生活指導部
 【B部会】研究推進部・特別活動部・体育学芸部
 【委員会】経営支援・入学対策・卒業対策
 ★第五小学校働き方改革推進のための方策

青梅市立第六小学校
 青梅市立西中学校
 保育園・幼稚園
 各種官公庁等